

グロスマンアカデミー

2000年3月にJT生命誌研究館発行の季刊誌に掲載された、当時のグロスマンアカデミーの様子を伝える記事です。



真っ赤な添削文 福田正子

週に一度、土曜の午後には6時間開く日本語学校がグロスマンアカデミーだ。

平日はアメリカの高校や中学校で英語で授業を受けている生徒が集まってくる。日本から来たばかりの子は英語についていけず、アメリカ生活が長い子は日本語の勉強が遅れがちだ。皆、土曜日の足は重いが、どうにかやり繰りをしてやって来る。

自分を表現できるようにするには、詩で直感を磨き、小論文で真理を追求するのがよいと考えているグロスマン先生は、生徒の力を信じているので、毎回容赦なく、あらゆる視点から問題を突きつける。政治、経済、文化、宇宙、科学、そして生命のこと。生命誌研究館とグロスマンアカデミーを結んだのは、『三十五億年の命』

(中村桂子氏の中学校教科書への書き下ろし)だった。

知的に生きる人になって欲しいと願うグロスマン先生は、fundamentalな疑問をもつことを要求する。そしてこの点が共通している『生命誌』は素晴らしいと言っている。『生き物と数』(通巻24号, 1999)を読んで、先生は躍り上がって喜んだ。さっそくコピーが配られ、生徒は、〈生物は数学である〉ことを論じるよう課せられる。立論の部分に〈生物は数学である〉を使わなくてはならないと言われているので、その証明のために格闘する。新鮮な発見とショックの後、数学嫌いの子が「先生、数学って表現みたい」とつぶやくのを聞いて、教師はしてやったりと思う。

ここは、最先端技術の地シリコンバレー。生徒は、カリフォルニアの自然の中、アメリカの社会の中、人間としての体内の自然を感じながら、自分を表現していく。ひとりひとりの人間

にきちんと向き合って、独自の表現を引き出していくことはとても難しい。でも、グロスマン先生から生徒に返される真っ赤な添削文がそれを可能にしていくと、創立以来関わってきた私は、事務室の中で思っている。

(ふくだ・まさこ/グロスマンアカデミー事務長)



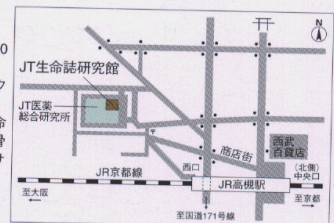
容赦のないグロスマン玲子先生(右)。

BIOHISTORY Vol.7 No.4, 通巻26号 Spring

発行日	2000年3月1日
発行	JT生命誌研究館
	〒569-1125 大阪府高槻市柴町1-1 tel.0726-81-9755 fax.0726-81-9744 (編集部) Eメール biohist@ims.brh.co.jp
プロデュース	中村桂子
エディット	加藤和人 十高本章子 十工藤光子 十鳥居信夫 十北地直子
アート・ディレクション	松田行正
デザイン	白田美代子 十平井靖子
制作	プラス・エム株式会社
写植・版下	株式会社モリヤマ
印刷・製本	ジェイティブロスプリント株式会社 関西支店
写真・図版提供/協力	昆虫写真家・山口進

BRH JT生命誌研究館 Information

[開館日] 毎週火曜～土曜(祝日の場合も開館)の10:00～16:30(入館は15:30まで)。入場無料
[常設展] オサムシの進化ビデオライブラリー、インタラクティブ・ラボほか
[特別展] チョウの翅が語る生命誌(～4月22日)、生命の樹—科学と布の芸術にみる生命観(～9月30日)、骨と形—骨ってこんなに変わるもの?(～2001年3月)、オサムシ—見えてきた進化の姿(2000年4月25日～)
[ホームページアドレス] <http://www.jtnet.ad.jp/BRH/>
[お問い合わせ先] tel.0726-81-9750 (代表)



福田正子さんはグロスマン先生とグロスマンアカデミーを創立された方です。現在ロンドン在住されておりますがE-mailにて連絡がとれ、草創期の様子を記した同誌を送っていただきました。同誌をグロスマン先生にお渡ししますので興味ある方は先生に閲覧を申し出てください。

Grossman Academy
38051 Stenhammer Drive, Fremont CA 94536
Tel:1-510-797-4721